館報

奥州市立 高野長英記念館

高野長英記念館館
秋の重文特集号
2026.11. 13(金)
文　責　菊地　榮壽

秋の重要文化財の公開

ー好評のうちに　無事終了いたしましたー

第２回企画展開催期間中の 10 月 6 日(火)～11 月 8 日(日)の 30 日間、秋の重要文化財の公開を合わせて実施いたしました。

今回は、重要文化財 58 点のうち 10 点、市指定文化財 2 点、寄託資料、寄贈資料、あわせて 19 点を展示いたしました。

今回の秋の重要文化財の公開は、終了となりましたが、今回の展示資料は当記念館のホームページでも閲覧できますので、この機会にご利用いただければ幸いです。

今回の重要文化財の公開資料について

1『椿椿山筆　絹本著色高野長英像』

椿椿山が描いた高野長英の肖像画。長英の精神面を表したものと言われています。椿椿山は渡辺崋山の弟子で、花鳥画・肖像画の分野に優れた作品を多く残しました。https://www.city.oshu.iwate.jp/choei/shuzo/1/1328.html

2『験温管目盛翻訳』(原本)

洋紙に印刷寒暖計図を貼り付け、その左に青・赤字でのペン字の書き入れをした図を付けたものです。フランス、オランダの二か国語で表記してあります。

https://www.city.oshu.iwate.jp/choei/shuzo/5/1151.html

3 米吉宛高野長英書状

入獄 6 年目、41 歳の時に米吉に宛てて書いた手紙。母美也が長英の赦免運動の状況などを知りたくて仙台に赴いた際に、米吉が長く泊めて歓待してくれたことに対してお礼を述べ、今後も見捨てることのないようにお願いしています。

https://www.city.oshu.iwate.jp/choei/shuzo/2/1121.html

4『高野長英手配触書』(控え)

脱獄して 1 か月後の弘化元年(1844)8 月 1 日に出された長英の触書と人相書き。

https://www.city.oshu.iwate.jp/choei/shuzo/6/1141.html

5『蘭文兵書』(巻子)

長英が写したオランダ語の兵学に関する著述書。原典は、オランダの軍人・技術者カルテンの兵書。全 11 巻の内の第 9 章の筆写。

https://www.city.oshu.iwate.jp/choei/shuzo/4/1932.htm

6『蘭文兵書』(冊子)

長英が写したオランダ語の兵学に関する著述書。原典は、ドイツの軍人ティールケの兵書。

https://www.city.oshu.iwate.jp/choei/shuzo/4/1931.html

7『兵書値段書』

6 種類の蘭文兵書の名前とその値段を記したもの。

https://www.city.oshu.iwate.jp/choei/shuzo/6/1145.html

8『訳書解題』

嘉永元年(1848)11 月ころ愛媛県の宇和島で書かれたと推定される長英の訳本著作解説(『西洋歩兵教練法　図付』『三兵答古知幾』『砲家必読』『新制鉄砲溶法』『訳洋文解』)。

https://www.city.oshu.iwate.jp/choei/shuzo/6/19374.html

9『訳業必要之書籍目録』

西洋の書物を翻訳する時に必要な辞書、辞典、兵書などの書籍をまとめたもの。

https://www.city.oshu.iwate.jp/choei/shuzo/6/1144.html

10『遜謨児四星編』

1801 年以来、次々と発見された 4 つの小惑星「セレス、パラス、ユノー、ベスタ」の発見の事情など、太陽からの平均距離・軌道の楕円率・公転周期・直径組成などが詳しく紹介。https://www.city.oshu.iwate.jp/choei/shuzo/5/12